

令和6年度 授業改善推進プラン

大田区立大森第八中学校

学力向上を図るための全体計画

- ・文部科学省 [生きる力]と[確かな学力]
- ・東京都教育委員会教育目標 「豊かな個性」「創造力」など
- ・おおた教育振興プラン2014 「学力向上」「豊かな心」「体力の向上」など

学校教育目標

- ・心身ともに健康な生徒
- ・自ら学び、向上する生徒
- ・心豊かで、思いやりのある生徒

目指す中学生

- ・学習に励み、健康な身体を作るために努力する（文武両道）
- ・やるべき事に責任をもちしっかり果たす
- ・相手の心情を理解して場面に応じた言動ができる

体力向上プログラム

- ・運動週間の確立
- ・生活習慣の確立
- ・体育的行事の充実

学校経営方針(学習指導にかかわる要点の抜粋)

- 基礎学力、基本的生活習慣、基礎体力をしっかり身に付けさせる。
- 一人一人を大切に授業を目指す(個性・成就感・体験的な活動)。
- 学校・家庭・地域との連携を図り、信頼の得られる学校を目指す。

規範意識の育成

- ・食育の推進
- ・特別支援教育の推進
- ・部活動の充実

学習意欲の向上

- ・分かって楽しい授業を実践し、基礎学力の向上を目指す(ステップ学習の活用)
- ・一人一人を大切に、個に応じた指導をする。少人数指導(数学、英語)
- ・生徒の学習意欲向上につながる適正な評価の実施
- ・補習教室、夏季休業中補充教室の充実
- ・朝読書の実施
- ・言語活動の充実

本校が目指す「確かな学力」

- 第4段階・・・ 習得したことを生活や学習に生かす
- 第3段階・・・ 各教科の基礎・基本
- 第2段階・・・ 読み・書き・計算
- 第1段階・・・ 基本的な生活習慣・学習習慣

道徳教育の充実 ～思いやりの心を～

- ・爽やかな挨拶
- ・道徳授業の充実
- ・特別支援学級との交流
- ・豊かな体験活動
- ・教育相談の充実
- ・自己有用感・自己肯定感を持たせる学級経営
- ・言語環境の充実

地域に開き、信頼される学校

- ・情報の発信と受信と説明責任(ホームページの充実)
- ・近隣小学校との連携(交流会、部活動体験)
- ・PTAとの連携、挨拶運動
- ・学校公開の充実
- ・道徳地区公開講座の充実
- ・学校支援地域本部の発展

進路指導の充実

- ・個性や適性に応じて3年間を見通した進路指導を行う。
- ・自己理解を深め、自主的に進路選択ができる能力の育成を図る。
- ・生涯学習の視点に立ち、生きることへの意欲と目的意識を持たせる。

生活指導の充実

- ・【子どもの心サポート月間】を中心とした生徒理解の深化
- ・早寝・早起き、朝ご飯について5、10月を徹底月間とし、基本的生活習慣の啓発に努める
- ・集団生活のルール順守、他の人に迷惑をかけない態度を粘り強く育成する
- ・組織的に速やかに対応する

特別活動・学校行事の充実

- ・生徒の活動を中心にして自主自立の精神を育てる
- ・学校行事や部活動で充実感、達成感を体験させる
- ・生徒会活動の活性化
- ・ボランティア活動の充実
- ・宿泊行事においてルール、礼儀、マナーを身につける
- ・発表力、表現力、思考力の育成

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・少人数制授業、習熟度別学習を取り入れ、個々の生徒に応じた指導を行う。 ・実践的・体験的・問題解決的な学習活動を多く取り入れ、生徒の興味・関心を高める指導を展開する。 ・授業に小テストなどの復習反復を多く取り入れ、各単元における基礎・基本の徹底を図る。 ・言語活動を重視した取り組みを展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に基づき、年間を見通し、授業時間を確保する。 ・各授業を充実させ、生徒の興味・関心に応じた発展的な学習や補充的な学習を行う。 ・各教科や学級活動において、3年間を見通した系統的な学習計画を作成する。 ・【小中一貫教育】を充実させるために、9年間を見通した学習計画と生活指導方針を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校における[確かな学力]を明確にし、全教職員で共通理解を図り、毎時間の授業改善に努める。 ・学習効果測定の結果を分析し授業改善に努める。 ・【OJT週間】を全学期にそれぞれ設置して、互いの授業を参観・分析して、授業改善に努める。 ・【校内研修】を充実する。道徳の教科科に向け、授業形態や評価を中心に研修の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとの評価・評定の基準を保護者や生徒に明らかにし、学習意欲の向上を図る。 ・各教科において、【主体的・対話的で深い学び】を重視する。観点別評価における【表現】の位置づけを充分に考慮する。 ・授業内の評価活動をこまめに行い、「できた」ことは具体的に褒める等、指導と評価の一体化を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【学校支援地域本部】の充実を図る。活動内容を充分に検討し実践する。 ・道徳授業地区公開講座や授業公開を積極的に行う。 ・HPによる情報発信の充実を図る。 ・自己評価(学校評価)及び学校関係者評価の結果を公開して、更に開かれた学校へ改善する。 ・保護者や地域と挨拶運動を徹底する。